

## 第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

### ②評価調査者研修修了番号

平成 17 第 28 号、SK18158、平成 27 年第 37 号、SK18265

### ③施設の情報

名称：ライクホームはるか	種別：児童養護施設	
代表者氏名：施設長 川村 宏司	定員（利用人数）：36 名（30 名）	
所在地：〒740-0011 山口県岩国市立石町 3 丁目 6 - 2 5		
TEL：0827-28-6085	ホームページ：www.tsure20.co.jp/haruka/	
【施設の概要】		
開設年月日：昭和 26 年 8 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 はるか		
職員数	常勤職員：29 名	非常勤職員：3 名
有資格 職員数	家庭支援専門相談員：1 名	栄養士：1 名
	里親支援専門相談員：1 名	保育士：9 名
	児童指導員：14 名	心理士：1 名
	個別対応職員：1 名	看護師：1 名
	職業指導員：1 人	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)

### ④理念・基本方針

- 1) 経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営の確立  
施設整備を見据えた経営計画を立て、四半期ごとに評価し、職員全員で共有し目標の達成に向けた取り組みをする。
- 2) 子育て支援拠点施設に向けての強化  
学校及び児童相談所、地域社会との連携を強化し、社会的に開かれた信頼される公益事業を実践する。
- 3) 施設の透明性を高め、施設機能強化を実践
  - ・ホームページ・広報誌による情報開示
  - ・第三者評価の評価を活かしたアセスメントの実施と改善
  - ・コンプライアンスの推進とガバナンスの強化
  - ・情報共有と意思統一のためのコミュニケーションの実践

4) 人材の育成と研修を推進する。

「社会性」「専門性」「人間性(寛容)」を基本とした人材育成の計画を立て、キャリアパスによる人事考課を行う。特に、理念を現場に浸透させるため「人間性(寛容)」の向上による養育の基礎になる取り組みを実施する。

⑤施設の特徴的な取組

- ・施設長のリーダーシップのもと、幹部職員を中心に、職員全員が施設の理念、方針を十分理解、共有して養育支援を実践されています。
- ・「小規模グループケア」を基本とし、各ホームにおいて子ども一人ひとりの年齢や状況に応じた目標と予算を、子どもたちの意見を聞きながら立て、目標達成するための方法や経費の使い方などについて子どもたちと一緒に考えるよう実践されています。
- ・「子ども一人の人」をモットーに、子どもが自らの意思で人とつながり、行動する場や関係を大切にされており、生活の決まりも最初から職員が子どもに示すのではなく、子どもたちに考えさせ、失敗や成功から、悪いこと、良いことなど子どもたちに体感させ、身につけさせるように実践されています。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月11日(契約日) ~ 令和3年3月29日(評価結果確定日)
前回の受審時期(評価結果確定年度)	

⑦総評

◇特に評価の高い点

各ホームにおいて家族単位の少人数定員6人までとし、家族と同様の生活経験をするにより、退所後、進学、就職、将来家族を持つときに、ホームで経験したことを活かした生活ができるよう、自立支援に向けた養育支援が行われています。

施設は街中の交通の便がよい場所にあり、地の利があることを活かし、家庭復帰の支援には特に力を入れています。

入所時の受け入れも温かい雰囲気づくりを心掛けており、家庭復帰が見込める子どもに、面会交流、家庭への宿泊などを実施しています。家庭訪問も実施し、保護者の養育不安に応えるなど家族への支援を行っています。

子どもに対し、決まり事を書面として示すことはできるだけ行わず、職員とホームでの生活をする中で、良いこと、してはいけないことを体感させ、理解してもらうよう支援されています。

幼児から小学校低学年までは職員が1対1で入浴し、その際子どもと話をすることで

コミュニケーションを取っています。

食事のメニューはあらかじめ栄養士が作成し、各ホームで適宜アレンジして職員が交代で作製し、その作る姿を日ごろから子どもたちに見せる、食事の時間を一緒に過ごす、温かい食事を心がけ、部活動等で遅くなると温めたり児童が一人で食事をしなくてもいいように職員がリビングで一緒に過ごす、おやつ作りをするなど、生活の中でふれあい、話し合いをして、子どもの状況を把握しながら養育支援がなされています。季節の行事食を通して日本の文化に関心を持つようにしたり、外食に行った時にはマナー等を教えています。また、偏食を少なくするために調理した人に失礼になることを伝えながら、嫌いな物でも少しでも食べられるように配慮しています。独自のマニュアルを作成して、調理が初めての子どもにも写真入りで包丁の使い方などが理解できるようにしています。

施設全体での行事、集会等はあえて行わず、それぞれのホーム単位で子どもたちと一緒に、行事、イベント、会議等が行われ、家族のような触れ合いが生まれています。集団での規律や学習については、各ホームだけでなく、地域のスポーツ少年団や地域での清掃活動参加等により、そこで学ぶようにされています。

基本方針にあるよう、地域との交流を大切にしています。自治会に加入し、夏祭りなどに子どもたちと参加するほか、卒園生や元職員が家族で来園するなどさまざまな人たちが集い、交流しています。また、旅行に行った時は、近所の人にお土産を買って帰るなど、近所との交流も大切にされています。子どもたちも図書館やお店など地域の社会資源を利用しており、地域が子どもたちを見守り、支えてくれている施設です。

#### ◇改善を求められる点

聞き取りにおいて、「現状、子どもの年齢構成などを見ると就職より進学ニーズの方が高いということもあり、職場実習や職場体験の開拓は十分とは言えない。」との事でした。アルバイト、ボランティアの推奨は行い、各ホームで支援されていますが、実習先の開拓には至っていないようです。今後、協力事業主と連携して、実習先や体験先、協力企業等の開拓に努められることを期待します。

#### ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

最初の評価機関であり、前回とはまた違う視点でのあり方を学ぶことができました。高評価については職員へ日頃からの努力を労い、次回に向けての励みにしていきます。また、今後の高機能化、多機能化に向けた強化と見なおしに努めたい。  
今回の評価者のみなさんの熱意のある姿勢に感謝します。

#### ⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 25 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 共通評価基準（45 項目）

#### 評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<コメント> 基本理念が明文化され、周知が図られていることから、a 評価とした。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<コメント> 施設経営をとりまく環境と経営状態が「全社協福祉ビジョン」「福祉新聞」を参考に「岩国市地域福祉計画」によりの確に把握・分析されていることから、a 評価とした。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・b・c
<コメント> 社会保険労務士・税理士の助言などにより経営課題を明確にし、資料の回覧、ホームでの報告、朝礼などにより具体的な取組を進めていることから、a 評価とした。		

##### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		

4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; リーダー会議などにより、中・長期的なビジョンと計画が明確にされていることから、a評価とした。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が実行可能な内容として策定されていることから、a評価とした。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; ホーム会議、リーダー会議、理事会などにより、事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解していることから、a評価とした。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 子どもの希望は、食事をしながら聞くなどの工夫をされ、子どもの意見をよく聞き、子どもの最善の利益を考えつつできるだけ要望に応じていこうと真摯に取り組まれていることから、a評価とした。</p>		

#### I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; チェックの仕方、分析などの取組が組織的・計画的に行われていることから、a評価とした。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 職員会議の文書化など取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施していることから、a評価とした。</p>		

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<コメント> 会議に積極的に参加するなど方針と取組を明確にしていることから、a評価とした。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 遵守すべき法令をファイルして閲覧できるようにしていることから、a評価とした。		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 朝会、引き継ぎミーティング等で評価分析し、具体的に指示している。昼食も職員と一緒に取りよく声掛けをして意欲を持ち取り組まれていることから、a評価とした。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 施設長がアンケートを作成して、個人面談を行う等具体的に取り組んでいることから、a評価とした。		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<コメント> はるか支援基準、運営方針及び事業計画により、採用試験や職員研修を行っていることから、a評価とした。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<コメント> 人事管理は、法人で一括して行っている。シフトは各ホームでリーダーが個別面談により職員の意見、意向を把握するなど総合的な人事管理を実施していることから、a評価とし		

た。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホーム長、主任が定期的に個別面談を行い、必要に応じて心理士が面談を行っている。休暇は可能な限り希望に応じるなどワークライフバランスを重視して働きやすい職場づくりに取り組んでいることから、a評価とした。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホーム長との人事考課面談（4.6.9.12月）において、コミュニケーションを取りながら、各自の目標を確認している。施設長への面談はいつでも可能など育成に向けた取組が適切に行われていることから、a評価とした。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>基本方針、はるか支援基準に職員研修一覧を明示して、教育・研修が実施されていることから、a評価とした。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>経験や習熟度に配慮した個別的なOJT、スーパービジョンの体制は、十分でないが職員育成・研修計画により研修の場に参加できるように配慮されていることから、a評価とした。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>後進の育成に配慮して自分自身の実習計画をできるだけ行うための支援、疑問点はその日のうちに解決するなどの取組から、a評価とした。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

ホームページ、広報誌、フェイスブックに施設で行っている活動を掲載していることから、a評価とした。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員に周知、内部監査、監事監査、顧問社会保険労務士、顧問税理士による監査支援、経営改善を実施して適切に公開していることから、a評価とした。</p>		

#### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自治会の清掃作業、地域の行事に子どもと職員が参加している。リビングや児童の居室で遊ぶことができるなど、地域への働きかけを積極的に行っていることから、a評価とした。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルにより、基本姿勢を明確にし体制を確立していることから、a評価とした。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>定期的な連絡会に参加するなど関係機関等との連携が適切に行われていることから、a評価とした。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各関係機関の会合に参加していることから a 判定とした。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>講演、セミナーなど公益的な事業・活動が積極的に行われていることから、a評価とした。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>はるか支援基準、「この子を受け止めて、育むために」、LINE WORKSにより施設内で共通の理解をもつための取組が行われていることから、a評価とした。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>社会福祉法人はるかプライバシー保護に関する規程を作成し子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われていることから、a評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>パンフレットと基本理念や運営方針を分かり易くしたものを作成し、入所前から個別に丁寧な説明をしている。見学は希望に応じていることから、a評価とした。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>インテーク資料に則って、英語で作成するなど必要な配慮に応じた資料を作成し、説明運用していることから、a評価とした。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入退所時に不利益が生じないように退所後もホーム職員が担当し説明を行った上でアフターケア冊子を渡し、継続性に配慮した対応を行っていることから、a評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家庭的な雰囲気の中で、食卓を囲んだ時等に職員が子どもの思いを聞くようにしている。食事については、嗜好調査を行っていることから、a評価とした。</p>		

Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>フローチャートにて説明し、掲示物を掲示している。意見箱を各ホームに設置。お風呂で話を聞くこともある。苦情解決委員によってフィードバックする仕組みがあることから、a評価とした。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「苦情解決の仕組み」を作成し、各ホームに掲示している。子どもの申し出により、管理棟相談室を利用できる等環境を整備していることから、a評価とした。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>安全委員会の聞き取り及びホーム内子ども会議を行うなど組織的かつ迅速に対応していることから、a評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>失敗した後の報告対応、改善策・再発防止策等リスクマネジメント体制が構築されていることから、a評価とした。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症の流行前に、各ホームに対応マニュアルを配布するなど管理体制が整備されていることから、a評価とした。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>緊急時対応マニュアルにより、安全確保のための取組を組織的に行っているが、「事業継続計画」が十分でないことから、b評価とした。</p>		

### Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され	a・b・c

	養育・支援が実施されている。	
<p>&lt;コメント&gt; はるか支援基準により、文書化され養育・支援が実施されていることから、a評価とした。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; はるか支援基準に定めて見直しをする仕組みが確立していることから、a評価とした。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 自立支援計画作成マニュアルにより、担当職員と児童が面談を行い、ニーズを把握している。支援困難ケースについては、関係機関にも参加を求め、処遇会議を行っていることから、a評価とした。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 自立支援計画作成マニュアルにより、確認する仕組みが構築され、機能していることから、a評価とした。</p>		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 情報共有システム・支援日誌両方を用いて情報を共有していることから、a評価とした。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 社会福祉法人はるか 個人情報保護規程により、適切に管理が行われていることから、a評価とした。</p>		

## 内容評価基準（25項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

### A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

	第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの権利擁護	

A①	A-1-(1)-① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	㉠・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「はるか支援基準」に子どもの権利を守ることが養育支援基本であることが明記されており、職員会議等で共通理解が図られていると判断できたので、a評価とした。</p>		
A-1-(2) 権利について理解を促す取組		
A②	A-1-(2)-① 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもに対し、入所時、「権利擁護ノート」や「安全委員会」の資料を用い、すべての暴力から守られていることを説明している。「安全委員会」において、各ホームより月1回聞き取り調査（職員が個別に各部屋で、暴力だけでなく、困っていること悩み、不安なども併せて子どもから聞く）を実施、その結果を職員会議で協議し、安全委員会で報告されている等が、聞き取りや資料により確認できたので、a評価とした。</p>		
A-1-(3) 生い立ちを振り返る取組		
A③	A-1-(3)-① 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アルバムの写真収集を確認した。また、聞き取りにおいて、整理は各ホームの職員が子どもたちと一緒にを行うとともに、退所時に子どもにそのアルバムを渡していると確認し、a評価とした。</p>		
A-1-(4) 被措置児童等虐待の防止等		
A④	A-1-(4)-① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>体罰や不適切なかかわりについては、「就業規則」にて厳正に対処することが明記されている。「苦情解決規程」に基づき、「意見箱」が各ホームと本部に設置され、子どもたちの意見が言いやすいようにしている。日常生活場面で折に触れ、意見が言いやすい環境を作っている。「安全委員会」において、月1回子どもたちの聞き取り調査を行うことにより、体罰や不適切なかかわりなどの防止と早期発見の取組が実践されている等により、a評価とした。</p>		
A-1-(5) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑤	A-1-(5)-① 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各ホームで子ども会議を行い、生活上の問題点、課題等について子どもたちが主体的に考え取り組むように支援されている。職員は、子ども会議や月1回の子どもの聞き取り調査、日々の子どもの関わりの中で子どもたちの意見を聞き、生活上の改善等に反映させている。また、「支援日誌」などは子どもたちも見られるよう配慮している等により、a</p>		

評価とした。		
A-1-(6) 支援の継続性とアフターケア		
A⑥	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安を軽減して関わりを図りながら移行期の支援を行っている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入所前から保護者と面談し、家族療法室など使い入所体験をしてから、受け入れている。入所事前面接で個人別に写真など使って分かりやすく施設の状況の説明を行っている。退所前、外泊など、家庭復帰訓練を保護者と協力しながら行っている等により、a評価とした。</p>		
A⑦	A-1-(6)-② 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>退所した子どもには、関わりのある子どもや職員と一緒に出かけに行き、食事をしたりするなど、退所後も子どもたちの自立を側面から支援している。また、ケース記録に退所後の様子を記録している。退所後の子どもとSNSの「ライン」などで連絡をとるなど、子どもが気軽に連絡してこられるよう工夫している等により、a評価とした。</p>		

## A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑧	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、食事、入浴、余暇時間など、一人ひとりの子どもたちと関わる場面が多く、日常生活を通じて子どもたちの感情や言動に触れ、子どもへの感情など受け止めている。ホーム会議やホームごとの職員の毎日の業務の引継ぎを通して、子どもたちへの理解を深めている。「利用者アンケート」から、職員への信頼や施設の暮らしやすさ、施設が安全な居場所であると子どもたちが感じていることがうかがえることにより、a評価とした。</p>		
A⑨	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>小規模グループケアにより、食事、入浴、余暇時間など、職員が一人ひとりの子どもたちと関わる場面が多く、日常生活を通じて子どもたちとの信頼関係が構築されている。夜、不安感がある子どもについては、子どもと同室で添い寝するなどの対応をとっている等により、a評価とした。</p>		
A⑩	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	㉠・b・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員が子どもたちに対し、生活の決まりを最初から示すことはあえてせず、子どもたちが良いこと悪いことを体験しながら、生活上の規範を身につけていくよう取り組まれている。職員の勤務体制を、朝夕それぞれのホームの子どもたちの状況に合わせ、忙しい時には職員を増やすなどの体制をとっている等により、a評価とした。</p>		
A⑪	A-2-(1)-④ 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>基本個室であるため、自分の部屋で静かに学習できる環境があり、子どもたちが一緒に学習する場所も確保され、学習支援は職員が行うだけでなく、学習塾経験のある方に月～金3時から8時頃まで来ていただき、年齢に応じた指導をしている。</p> <p>また、各ホームには、遊びや余暇を過ごす部屋が確保されている。</p> <p>高齢児は、必要に応じ学習塾を利用する等、個々の発達状況に対応されているので、a評価とした。</p>		
A⑫	A-2-(1)-⑤ 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるように養育・支援している。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全国児童養護施設協議会「この子を受け止めて、育くむために」を職員全員に配布し、これを参考として養育支援に取り組んでいる。職員が子どもたちに対し、決まり事を最初から示すことはあえてせず、子どもたちが良いこと悪いことを体験しながら、生活上の規範を身につけていくようにされている。地域のスポーツ少年団への参加、地域の図書館での学習や地域での清掃活動への参加などを通して社会規範を習得できるよう支援していることにより、a評価とした。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A⑬	A-2-(2)-① おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各ホームにキッチンがあり、職員が交代で作り、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく素早く提供できるようされており、その姿を子どもたちも見て育っている。</p> <p>少人数の子どもたちと職員と一緒に話しながら、時にはおやつを一緒に作るなど家庭的な雰囲気ですべてを食べている。</p> <p>平日は、栄養士が立てたメニューで作り、日により、子どもの希望を聞き、栄養等勘案の上メニューの変更をし、また土日祝日は、各ホームで考えたものを作り、時には外食するなどの柔軟な対応を行っている等により、a評価とした。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A⑭	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

衣類は季節やTP0に合わせたものが十分用意されている。子どもの好きな服を職員と一緒に買い物に行くなどしている等により、a評価とした。		
A-2-(4) 住生活		
A⑮	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各ホームで、基本一人部屋、食器や日用品は個人所有となっており、休日等には、食堂、リビング等共有スペースを子どもと一緒に掃除をし、各部屋の整理が行われている等により、a評価とした。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A⑯	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>医療機関と連携し、一人ひとりの子どもに対する心身の健康管理を行い、服薬管理が必要な子どもには、日ごとに分けてあるピルケースを作成し、対応している等により、a評価とした。</p>		
A-2-(6) 性に関する教育		
A⑰	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人ごとに、年齢等の状況に応じた、性に関する目標(幅広の目標)を立て、目標が達成できるよう支援している。退所時にも、「ホームを巣立っていくあなたのために」の中で性に関する留意点などについても指導されている等により、a評価とした。</p>		
A-2-(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A⑱	A-2-(7)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「安全委員会」において、暴力、不適切行動があった場合、報告を受けるとともに、対処方針を協議、場合によっては、別部屋へ移すなど、子どもの安全を確保するなどの対応がとられている。また、職員が月1回、暴力、不適切行動をはじめ、生活上の困りごとなどを聞き取り、職員会議で報告するなど、予防、早期発見に対応している等、記録、聞き取りにより確認できたため、a評価とした。</p>		
A⑲	A-2-(7)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「安全委員会」において、暴力、不適切行動があった場合、外部委員(児童相談所、民生委員等)の協力のもと、施設長が中心となって、施設全体で対応方針を協議、適切な対応がと</p>		

<p>られている。また、職員が月1回、暴力、不適切行動をはじめ、生活上の困りごとなどを聞き取り、職員会議で報告するなど、予防、早期発見に施設全体で取り組む体制が整備されている等、記録、聞き取りにより確認できたため、a評価とした。</p>		
<p>A-2-(8) 心理的ケア</p>		
A⑳	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 臨床心理士が配置され、心理室において、心理療法が実施されている。心理士は、職員会議、処遇会議等必要に応じて、ホーム会議に参加し、心理的ケアについて支援している。又、自立支援計画策定時には、心理士も参加し、必要な心理的ケアについて支援している等により、a評価とした。</p>		
<p>A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等</p>		
A㉑	A-2-(9)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 基本個室であるため、自分の部屋で静かに学習できる環境があり、学習支援は職員が行うだけでなく、学習塾経験のある方に月～金3時から8時頃まで来ていただき、年齢に応じて指導を行っている。又、高齢児は、必要に応じ学習塾を利用する等により、a評価とした。</p>		
A㉒	A-2-(9)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 本人と職員が進路について、しっかり話し合い自己決定が出来るように支援、高校卒業後も措置延長を利用した進学、就労支援が行われている等により、a評価とした。</p>		
A㉓	A-2-(9)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt; アルバイトや職場体験など社会体験の拡大について奨励を行っている。現状、子どもの年齢構成などを見ると就職より進学ニーズの方が高いということもあり、社会体験の拡大については取り組まれているが、職場実習の開拓は十分とは言えないとの聞き取りから、b評価とした。今後、協力企業等の開拓にも努めたいと取り組む姿勢は感じられた。</p>		
<p>A-2-(10) 施設と家族との信頼関係づくり</p>		
A㉔	A-2-(10)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	㉑・b・c
<p>&lt;コメント&gt; 入所したら親子分離になるため、入所までに体験入所してもらう。また、退所前1泊から徐々に段階を踏んで泊数を増やし、退所しても大丈夫と判断できるまで様子を見る。退所後も、子どもの様子を本人や保護者に報告してもらうなどの体制がとられていることにより、a評価とした。</p>		
<p>A-2-(11) 親子関係の再構築支援</p>		

A ㊸	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	㊸・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入所時家庭支援相談員が中心となり、ホーム生活に馴染むように支援を行い、退所時も家庭支援相談員が中心となり家族療法室などを使って、親子と一緒に暮らすことを体験することで円滑な家庭復帰ができるよう、親子関係の再構築支援を行っている。退所後も保護者から子どもの状況について、写真などを入れたわかりやすい報告様式を作成し提出してもらうなど、継続的な関わりを持たれている等より a 評価とした。</p>		